

基本理念

子供の可能性を信じ、個性や能力を最大限伸ばす

第一期江波中「学びの向上」3ヵ年プラン(H19～H21) 成果と課題

生徒会活動の活性化

- 組織の意識により、生徒が自主的に、責任を持って活動するようになった。
- 顧問がリーダー育成の面などにおいて大きな役割を果たしている。
- 行事が活性化している。

○ リーダーが育っていない。学年リーダー、学年リーダーを育てることが必要。
○ 執行部と学級委員とのつながりが薄い。
○ 行事以外のところで

学年・学級経営の充実

- 意欲して掲示物を掲示するようになった。
- いたずらがなく、掲示物が充実できた。
- 学校内からゴミが減った。清掃活動に課題は残るが、校内環境は確実に好転している。
- 教育相談により、どの子どもも自分が大切にされている意欲を持てるようになった。
- 学校全体が落ち着き、当たり前のことができるようになった。

○ よりよい人間関係づくりのため、もっと面やクラスでの高めあう取り組みが必要である。
○ リーダーの育成や学級の諸問題にきこまざる時間がない。
○ 日々進められて教育相談や予防的生徒指導ができない。

習字研修

- 専業主婦が向上し、不登校
- マナー等が継続できない。

道徳教育の充実

- 道徳の教材を吟味する時間があると良い。
- 学校全体レベルでの推進体制が必要でない。
- 授業改善が求められる。(一方通行ではない)
- マナーや規範意識に課題がある。(挨拶、礼儀、服装などなかなか徹底できない。

授業改善及び学力の向上

- 授業に参加しない生徒が増えてきて取り組もうとするようになった。
- 小グループの学びに抵抗がなくなり、授業に参加するようになった。
- 子どもを見る視点が少し変化してきた。
- 授業研究により、生徒理解が深まった。
- 家庭学習のチェックにより、家庭学習の習慣が少しづつ着いている。

○ グループ学習で行なう内容や指導の仕方がつかない。
○ 協同的な学びへの抵抗感
○ 協同的な学びが実施できるような組織的な動きができていない。
○ 家庭学習の内容に不満足で、方法を工夫する必要はある。
○ 地道に努力する生徒が育たない。
○ 全体的に学力が低く、特に国・英の書くことの力がついていない。

地域ぐるみでの子どもの育成

- 保・幼・小・中及び地域との連携により、一貫した教育を行なうため、江波中学校区教育全体計画を策定した。
- 取り組みとして、保・幼・小・中の情報交換や小・中連絡会、部活交流会(雨のため中止)などを実施し、生徒理解

○ 保・幼・小・中の連携を密にするための具体的な実践を工夫して取り組む。

学力の向上
豊かな感性とマナー・規範意識の向上
リーダーの育成

目指す教職員

・常に学びの姿勢を持ち、生徒とともに成長する教職員

目指す学校像

・組織的、機能的、かつ協働的な学校運営体制の確立

1. 進んで学習に取り組み、豊かな学力を身につける。

(そのために)

- 授業改善に努める。
- 生徒一人一人が本当の意味で学ぶ(協同的な学び)ことができるように、授業時間の中で、2回程度グループ学習を取り入れ、一斉授業からの脱却を図る。
- 年間一人1回の授業研究と授業研究会を充実させる。
- 基礎・基本を定着させるために、学校全体として取り組む。
- 家庭学習の習慣化を図る。
- 江波中タイムを一層充実させる。
- 学習規律の徹底を図る。
- 授業開始と終わりの礼を徹底させる(成立して行なう)
- ベル着から着ベルへの意識の転換を図る。
- 教壇整理等の整備に努める。
- 机、カーテン、ロッカー等の整理整頓に努めるとともに、授業前には必ず、ゴミ、机など確認する。
- 教室内外の掲示物等を充実させる。

2. 礼儀やマナーを身につけるとともに、豊かな感性を持ち、よりよい社会を目指して積極的に行動できる。

(そのために)

- 生徒会活動(学年生徒会含む)を一層充実させる。
- 礼儀やマナーの推進に取り組む。
- 挨拶・グリーンキャンペーンなどを一層充実させる。
- ボランティア活動に取り組む。
- 生徒自ら課題に気がつくための取り組みを工夫する。
- 縦割りを取り入れた行事や、いろいろな生徒会の取り組みを通して、リーダーを育てる。
- 道徳教育の充実を図る。(新学習指導要領に沿って)
- 全体計画や年間指導計画を見直す。
- 活用しやすいように、教材や資料を整理する。
- 心に響く道徳授業に努める。
- 体系化された様々な体験活動を取り入れる。
- 習字研修や棒学旅行、職場体験、更には異年齢交流(保・幼・小・中含む)などを通して、つながりを深め、よりよい人間関係づくりやコミュニケーション能力を高める。

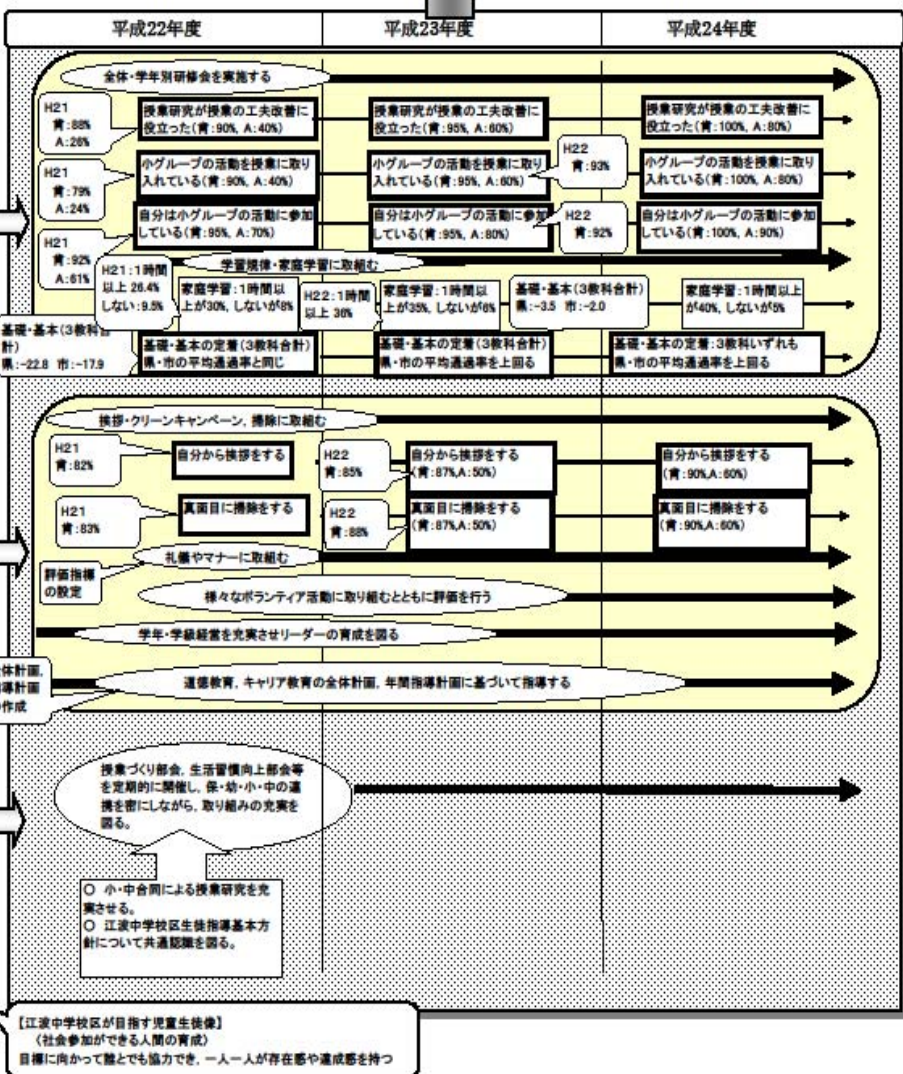
3. 保・幼・小・中学校や地域との連携を一層密にし、ながら江波中学校区教育全体計画に基づいた実践を行なう。

(そのために)

- 5つの合い言葉(江波中8割)が身につくように、地域と連携しながら全教育活動において意識しながら指導する。
- 保・幼・小・中連携の具体的な取り組みとして、小・中連絡会、部活交流会を充実させるとともに、その他

学校教育目標(目指す生徒像)

清く明るい心を持ち、人間としてお互いを尊重することができる
 豊かな感性を持ち、進んで学ぼうとする生徒
 進んで学習に取り組むとともに、常に責任ある行動をすることができる
 勤労の精神に満ち、困難にも負けないで何事にも努力することができる
 自主 責任
 勤労 不屈



学校教育目標

豊かな感性を持ち、進んで学ぼうとする生徒の育成

目指す学校像(ビジョン)

- 目指す学校像: 主任の実働化及び組織的・機能的、且つ協働的な学校運営体制の確立
- 目指す生徒像: 深く明るい心を持ち、人間としてお互いに尊重することができる。勤労の精神に満ち、困難にも負けないで何事にも努力することができる。進んで学習に取り組むとともに、常に責任ある言動をとることができる。
- 目指す教職員像: 常に学びの姿勢を持ち、生徒とともに成長する教職員

教職員が作成

	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	評価指標・評価基準		
				努力指標	成果指標	
学力の向上	<p>進んで学習に取り組み、確かな学力を身につけた生徒の育成に努める。</p>	<p>協働的な学びを成立する授業改善に取り組む。</p> <p>(理由)本校は基礎学力が県・市に比べ低く、望ましい人間関係づくり及び確かな学力の向上をめざした授業改善を図る必要があるため。</p>	<p>生徒のやる気や疑問を引き出すために、授業の導入時に「学習課題」を提示する。</p> <p>小グループの活動を授業展開に取り入れる。(「わからない」が書える生徒を育成する)</p>	<p>4「授業の導入時にめあてを提示した」の青定率が70%以上</p> <p>3「授業の導入時にめあてを提示した」の青定率が60%以上</p> <p>2「授業の導入時にめあてを提示した」の青定率が50%以上</p> <p>1「授業の導入時にめあてを提示した」の青定率が50%未満</p>	<p>4「授業の始めにめあてが提示されわかりやすかった」の青定率が70%以上</p> <p>3「授業の始めにめあてが提示されわかりやすかった」の青定率が60%以上</p> <p>2「授業の始めにめあてが提示されわかりやすかった」の青定率が50%以上</p> <p>1「授業の始めにめあてが提示されわかりやすかった」の青定率が50%未満</p>	
		<p>基礎基本の定着をはかるためのひとつの方策としてドリル学習や家庭学習の習慣が身につくように取り組む。</p> <p>(理由)確かな学力の基本となる学習習慣が定着していないため。</p>	<p>江波中タイムや江波中タイムテストの結果を基礎学力の向上に役立てる。</p> <p>家庭学習の習慣化を図るために課題を出し、毎日点検する。</p>	<p>4「江波中タイムが基礎学力の向上に役立っている」の青定率が70%以上</p> <p>3「江波中タイムが基礎学力の向上に役立っている」の青定率が60%以上</p> <p>2「江波中タイムが基礎学力の向上に役立っている」の青定率が50%以上</p> <p>1「江波中タイムが基礎学力の向上に役立っている」の青定率が50%未満</p>	<p>4「江波中タイムが基礎学力の向上に役立っている」の青定率が70%以上</p> <p>3「江波中タイムが基礎学力の向上に役立っている」の青定率が60%以上</p> <p>2「江波中タイムが基礎学力の向上に役立っている」の青定率が50%以上</p> <p>1「江波中タイムが基礎学力の向上に役立っている」の青定率が50%未満</p>	
豊かな人間性の育成	<p>礼儀やマナーを身につけるとともに、豊かな感性を持ち、より良いものを目指して積極的に行動できる生徒の育成に努める。</p>	<p>慎厳な礼儀(礼儀、マナー)が身につくよう取り組む。</p> <p>(理由)道徳的判断力を身につけさせるため。</p>	<p>毎朝、あいさつ運動を行う。</p> <p>授業の着ベルの指導を徹底する。</p>	<p>4「あいさつや生徒への声かけを積極的にに行った」の青定率が70%以上</p> <p>3「あいさつや生徒への声かけを積極的にに行った」の青定率が60%以上</p> <p>2「あいさつや生徒への声かけを積極的にに行った」の青定率が50%以上</p> <p>1「あいさつや生徒への声かけを積極的にに行った」の青定率が50%未満</p>	<p>4「あいさつ運動に参加し、気持ちのよいあいさつができた」の青定率が70%以上</p> <p>3「あいさつ運動に参加し、気持ちのよいあいさつができた」の青定率が60%以上</p> <p>2「あいさつ運動に参加し、気持ちのよいあいさつができた」の青定率が50%以上</p> <p>1「あいさつ運動に参加し、気持ちのよいあいさつができた」の青定率が50%未満</p>	
		<p>生徒会活動の活性化を図るとともにリーダーを育成する。</p> <p>(理由)生徒の自治能力を高め積極的に行動できる生徒を育成するため。</p>	<p>全校朝会が無言で開始できるよう生徒会を中心に工夫する。</p> <p>礼儀やマナーを身につけるために、授業や生活指導、キャンペーン活動を通して向上に努める。</p>	<p>4「教員からチャイム前に授業準備についての青定率が70%以上</p> <p>3「教員からチャイム前に授業準備についての青定率が60%以上</p> <p>2「教員からチャイム前に授業準備についての青定率が50%以上</p> <p>1「教員からチャイム前に授業準備についての青定率が50%未満</p>	<p>4「どの授業でも着ベルを守れた」の青定率が70%以上</p> <p>3「どの授業でも着ベルを守れた」の青定率が60%以上</p> <p>2「どの授業でも着ベルを守れた」の青定率が50%以上</p> <p>1「どの授業でも着ベルを守れた」の青定率が50%未満</p>	
町ぐるみによる教育の推進	<p>保・幼・小・中学校や地域との連携を一層密にしなが、江波中学校区教育全体計画の推進に努める。</p>	<p>必要の学校情報を地域・保護者に積極的に発信する。</p>	<p>ホームページを進行管理表に基づいて更新し、学校だよりの充実を図る。</p>	<p>4「身回りの整理整頓や清掃活動がきちんとできている」の青定率が70%以上</p> <p>3「身回りの整理整頓や清掃活動がきちんとできている」の青定率が60%以上</p> <p>2「身回りの整理整頓や清掃活動がきちんとできている」の青定率が50%以上</p> <p>1「身回りの整理整頓や清掃活動がきちんとできている」の青定率が50%未満</p>	<p>4「身の回りの整理整頓や清掃活動がきちんとできている」の青定率が70%以上</p> <p>3「身の回りの整理整頓や清掃活動がきちんとできている」の青定率が60%以上</p> <p>2「身の回りの整理整頓や清掃活動がきちんとできている」の青定率が50%以上</p> <p>1「身の回りの整理整頓や清掃活動がきちんとできている」の青定率が50%未満</p>	
		<p>必要の学校情報を地域・保護者に積極的に発信する。</p>	<p>ホームページを進行管理表に基づいて更新し、学校だよりの充実を図る。</p>	<p>4「全校朝会が無言で開始できるようになった」の青定率が70%以上</p> <p>3「全校朝会が無言で開始できるようになった」の青定率が60%以上</p> <p>2「全校朝会が無言で開始できるようになった」の青定率が50%以上</p> <p>1「全校朝会が無言で開始できるようになった」の青定率が50%未満</p>	<p>4「全校朝会の際は無言を意図して整列できた」の青定率が70%以上</p> <p>3「全校朝会の際は無言を意図して整列できた」の青定率が60%以上</p> <p>2「全校朝会の際は無言を意図して整列できた」の青定率が50%以上</p> <p>1「全校朝会の際は無言を意図して整列できた」の青定率が50%未満</p>	
町ぐるみによる教育の推進	<p>保・幼・小・中学校や地域との連携を一層密にしなが、江波中学校区教育全体計画の推進に努める。</p>	<p>必要の学校情報を地域・保護者に積極的に発信する。</p>	<p>ホームページを進行管理表に基づいて更新し、学校だよりの充実を図る。</p>	<p>4「礼儀、マナーの取り組みの成果が出てきている」の青定率が70%以上</p> <p>3「礼儀、マナーの取り組みの成果が出てきている」の青定率が60%以上</p> <p>2「礼儀、マナーの取り組みの成果が出てきている」の青定率が50%以上</p> <p>1「礼儀、マナーの取り組みの成果が出てきている」の青定率が50%未満</p>	<p>4「礼やマナーについての大切さがわかってきた」の青定率が70%以上</p> <p>3「礼やマナーについての大切さがわかってきた」の青定率が60%以上</p> <p>2「礼やマナーについての大切さがわかってきた」の青定率が50%以上</p> <p>1「礼やマナーについての大切さがわかってきた」の青定率が50%未満</p>	
		<p>必要の学校情報を地域・保護者に積極的に発信する。</p>	<p>ホームページを進行管理表に基づいて更新し、学校だよりの充実を図る。</p>	<p>4「合同総学活を通して学年リーダーが育った」の青定率が70%以上</p> <p>3「合同総学活を通して学年リーダーが育った」の青定率が60%以上</p> <p>2「合同総学活を通して学年リーダーが育った」の青定率が50%以上</p> <p>1「合同総学活を通して学年リーダーが育った」の青定率が50%未満</p>	<p>4「合同総学活で各学年の取り組みが交流できた」の青定率が70%以上</p> <p>3「合同総学活で各学年の取り組みが交流できた」の青定率が60%以上</p> <p>2「合同総学活で各学年の取り組みが交流できた」の青定率が50%以上</p> <p>1「合同総学活で各学年の取り組みが交流できた」の青定率が50%未満</p>	
町ぐるみによる教育の推進	<p>保・幼・小・中学校や地域との連携を一層密にしなが、江波中学校区教育全体計画の推進に努める。</p>	<p>必要の学校情報を地域・保護者に積極的に発信する。</p>	<p>ホームページを進行管理表に基づいて更新し、学校だよりの充実を図る。</p>	<p>●新読書の充実を図る</p> <p>●道徳授業の充実を図る。</p> <p>●日々の教育相談を充実させるとともに不登校生徒の減少をめざす。</p>	<p>生徒が本を読めるような環境作りを行った。</p> <p>道徳授業の充実のために、学年会で積極に交流できた。</p> <p>学年会で、教育相談前に、教育相談の方法を交流できた。</p> <p>学年会で、不登校生徒の情報交換を行い、組織的な対応方法を協議できた。</p>	<p>「静かに新読書ができた」の青定率が70%以上</p> <p>「道徳の時間は、自分のためになっている」の青定率が70%以上</p> <p>「先生達は、私たちの相談に気軽に応じてくれる。」の青定率が70%以上。</p> <p>平成22年度に比べて不登校状態に改善が見られた</p>
		<p>必要の学校情報を地域・保護者に積極的に発信する。</p>	<p>ホームページを進行管理表に基づいて更新し、学校だよりの充実を図る。</p>	<p>●必要の学校情報を地域・保護者に積極的に発信する。</p> <p>●授業参観、懇談会の内容を充実させる。</p> <p>●家庭・地域との連携を密にし、地域ぐるみで教育課題の解決にあたる。</p>	<p>ホームページを進行管理表に基づいて更新し、学校だよりの充実を図る。</p> <p>懇談会の内容を充実させ、保護者の出席率を上げる。</p> <p>学校協力者会議、地域サポート会議の内容の充実を図る。</p>	<p>4「合同総学活を通して学年リーダーが育った」の青定率が70%以上</p> <p>3「合同総学活を通して学年リーダーが育った」の青定率が60%以上</p> <p>2「合同総学活を通して学年リーダーが育った」の青定率が50%以上</p> <p>1「合同総学活を通して学年リーダーが育った」の青定率が50%未満</p>

校長が作成

重点事項

	自己評価				外部評価 協力者会議
	全体	教職員	生徒	保護者	
4月	経営計画作成 授業参観・学校説明会(23) PTA総会(23)	・平成23年度学校経営計画の説明 中期経営目標、短期経営目標 具体的方策・努力指標・成果指標 ・職員会議で報告・確認	・生活アンケート	・授業参観アンケート 学校説明会で学校経営計画・学校評価システムの説明	
5月	授業参観・学年懇談会(13) 小中連絡会(19)	・アンケート準備		・授業参観アンケート	・第1回 協力者会議(5/8) 学校説明会で委員紹介 学校経営計画・学校評価システムの説明
6月	第1回 評価委員会 基礎基本定着状況調査(14) ふれあい大集会(18) 授業参観・懇談会(20)	・学校評価委員会組織決定 ・今年度の学校評価計画策定 ・職員研修・説明 ・学校評価アンケート用紙検討 ・アンケート準備	・基礎基本定着状況調査	・授業参観アンケート	・第2回 協力者会議(中旬) 登校風景、授業の参観 生徒の状況報告
7月	トイレ清掃ボランティア(3) 小中部活交流会(6) 第2回 評価委員会 学校評価中間アンケートの実施	・教職員アンケートの実施 *アンケート集約	・生徒アンケート ・授業アンケート		
8月	第3回 評価委員会 分掌部会・学年会 第4回 評価委員会 職員会議	・中間アンケートの分析・まとめ ・中間アンケートを受けて 分掌部会・学年会で分析・課題の整理 学校の課題、改善点の整理 ・職員会議報告・研修			
9月	体育祭(17)	・アンケート準備		・行事アンケート	・第3回 協力者会議(初旬) 学校教育活動への意見提言 中間アンケート報告
10月	前期末懇談会(5~7)				
11月	合唱祭(2) 第5回 評価委員会 授業参観・PTAバザー(19) 広島市PTA研修会(27) 井口台中において 第6回 評価委員会 学校評価年度末アンケート の実施	・アンケート準備 ・学校の現状報告 ・アンケート内容の検討		・行事アンケート ・授業参観アンケート	・第4回 協力者会議(初旬) 午後の授業参観、清掃風景、 帰りのSHR(江波中タイム) 参観 基礎基本状況調査の報告
12月		・年度末アンケート実施 教職員アンケート *アンケート集約	・生徒アンケート ・授業アンケート	・保護者アンケート	・学校協力者委員アンケート
1月	江波中学校校区公開研究会(12) 第7回 評価委員会	・年度末アンケート結果の分析・まとめ 分掌部会・学年会取り組みの反省と課題	・生活アンケート (12年)		・学校評価アンケート結果の報告
2月	来年度学校経営計画の提示	・分掌会議・学年会で経営計画具体的方策 の立案			・第5回 協力者会議(下旬) 今年度の取り組みについて 評価結果・反省と課題
3月	第8回 評価委員会 来年度学校経営計画決定	・来年度、学校経営計画の検討 ・職員会議で報告・確認			

授業参観アンケート

よろしければ、参観された授業について、アンケートにお答え下さい。

参観された授業

() 年 () 組 教科 ()

◎あてはまる番号をご記入下さい。

- ・「はい」 4
- ・どちらかといえば「はい」 3
- ・どちらかといえば「いいえ」 2
- ・「いいえ」 1

・ 授業は落ち着いた雰囲気の中で
進められていましたか。

・ 生徒は意欲的に授業に取り組んで
いましたか。

◎その他、感想など、お書き下さい。

ご協力ありがとうございました。

平成23年度 江波中学校の教育に関する教職員アンケート（中間）

（ ）学年（担任・副担任・講師） ← いずれかに○をつけてください。

次の各項目について、A～Dの中から当てはまるものを選んで○をつけてください。

【評価】 A：そう思う（80%以上） B：ほぼそう思う（60%以上～80%未満） C：あまり思わない（40%以上～60%未満） D：思わない（40%未満）

No	評価項目	評価			
		A	B	C	D
1	授業の導入時にめあてを提示した。				
2	小グループや話し合いの場면을積極的に取り入れた。				
3	江波中タイムが基礎学力の向上に役立っている。				
4	家庭学習の提出により習慣化できた。				
5	あいさつや生徒への声かけを積極的に行った。				
6	教師自らチャイム前に授業場所についた。				
7	学年・学級や分掌で環境美化を計画的に行った。				
8	全校朝会が無言で開始できるようになった。				
9	礼儀・マナーの取り組みの成果が出てきている。				
10	合同終学活を通して学年リーダーが育った。				
その他	本校の教育に関して、改善すべき点などあれば記入してください。				

平成23年度 江波中学校の教育に関する生徒アンケート（中間）

次の各項目について、A～Dの中から当てはまるものを選んで○をつけてください。

年 組 男・女

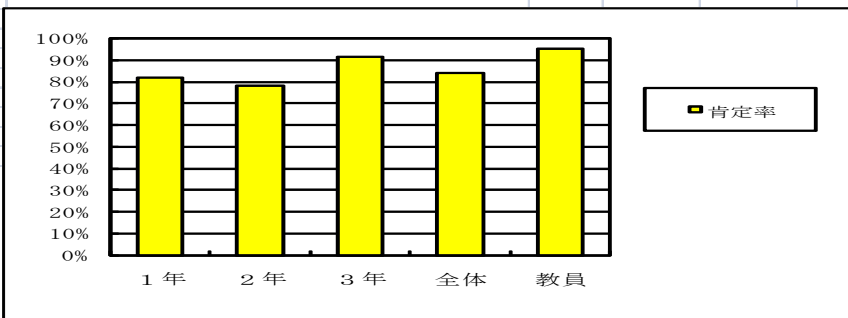
【評価】 A：そう思う（80%以上） B：ほぼそう思う（60%以上～80%未満） C：あまり思わない（40%以上～60%未満） D：思わない（40%未満）

No	評 価 項 目	評 価			
		A	B	C	D
1	授業のはじめにめあてが提示されわかりやすかった。				
2	自分は小グループ活動に参加できた。				
3	江波中タイムが基礎学力の向上に役立っている。				
4	家庭学習を毎朝提出できた。				
5	あいさつ運動に参加し気持ちのよいあいさつができた。				
6	どの授業でも着ベルを守れた。				
7	身の回りの整理整頓や清掃活動がきちんとできている。				
8	全校朝会の時は無言を意識して整列できた。				
9	礼やマナーについての大切さがわかってきた。				
10	合同終学活で各学級の取り組みが交流できた。				
	学校をよりよくするための意見があれば書いてください。				
その他					

平成23年度 生徒・教職員の比較 (年間評価)

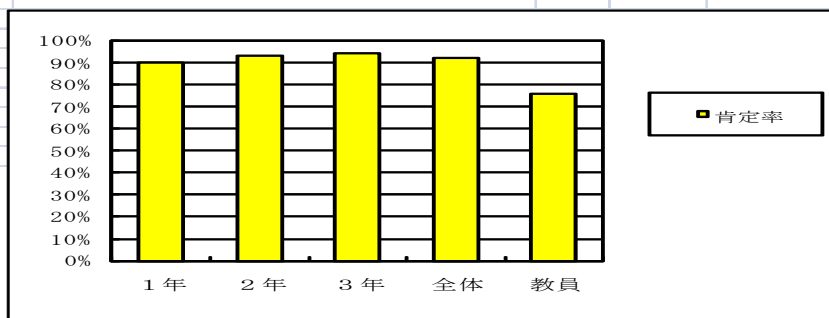
1 めあて

		肯定率
授業のはじめにめあてが提示されわかりやすかった。	1年	82%
授業のはじめにめあてが提示されわかりやすかった。	2年	78%
授業のはじめにめあてが提示されわかりやすかった。	3年	91%
授業のはじめにめあてが提示されわかりやすかった。	全体	84%
授業の導入時にめあてを提示した。	教員	95%



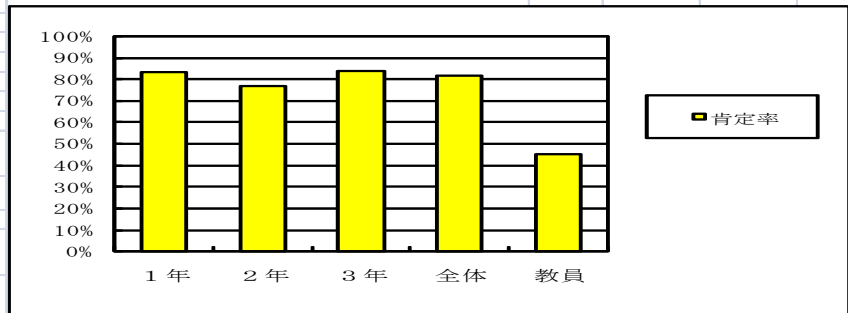
2 小グループ

		肯定率
自分は小グループ活動に参加できた。	1年	90%
自分は小グループ活動に参加できた。	2年	93%
自分は小グループ活動に参加できた。	3年	94%
自分は小グループ活動に参加できた。	全体	92%
小グループや話し合いの場面を積極的に取り入れた。	教員	76%



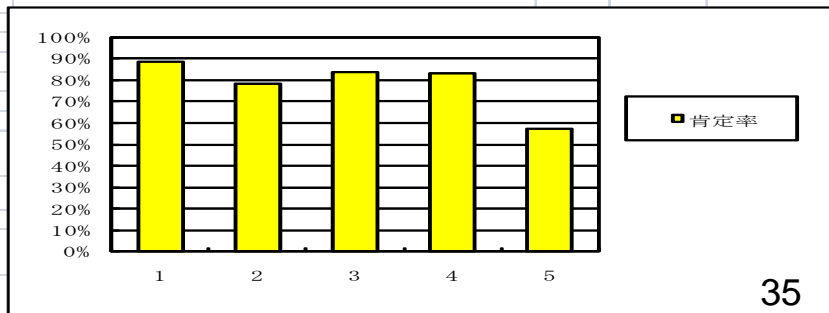
3 江波中タイム

		肯定率
江波中タイムが基礎学力の向上に役立っている。	1年	83%
江波中タイムが基礎学力の向上に役立っている。	2年	77%
江波中タイムが基礎学力の向上に役立っている。	3年	84%
江波中タイムが基礎学力の向上に役立っている。	全体	82%
江波中タイムが基礎学力の向上に役立っている。	教員	45%



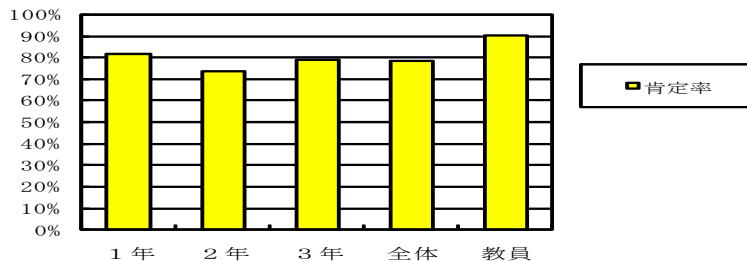
4 家庭学習

		肯定率
家庭学習を毎朝提出できた。	1年	88%
家庭学習を毎朝提出できた。	2年	78%
家庭学習を毎朝提出できた。	3年	84%
家庭学習を毎朝提出できた。	全体	83%
家庭学習の提出により習慣化できた。	教員	57%



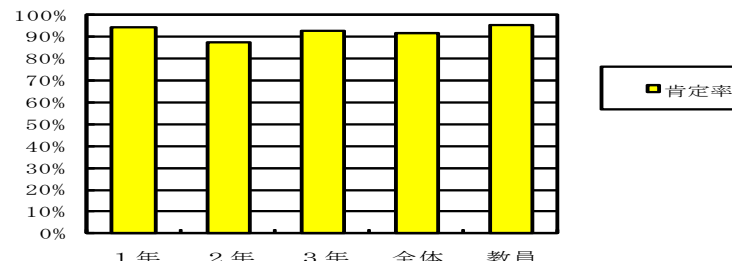
5 あいさつ運動

		肯定率
あいさつ運動に参加し気持ちのよいあいさつができた。	1年	82%
あいさつ運動に参加し気持ちのよいあいさつができた。	2年	74%
あいさつ運動に参加し気持ちのよいあいさつができた。	3年	79%
あいさつ運動に参加し気持ちのよいあいさつができた。	全体	79%
あいさつや生徒の声かけを積極的に行った。	教員	90%



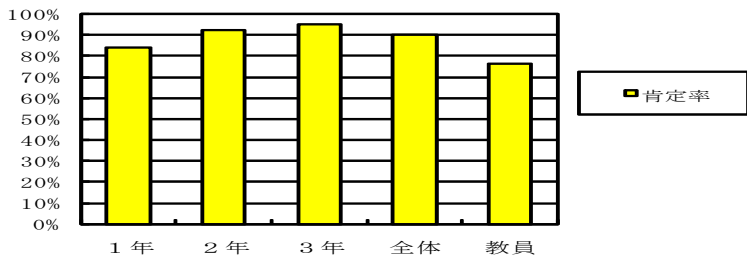
6 着ベル

		肯定率
どの授業でも着ベルを守れた。	1年	94%
どの授業でも着ベルを守れた。	2年	88%
どの授業でも着ベルを守れた。	3年	93%
どの授業でも着ベルを守れた。	全体	92%
教師自らチャイム前に授業場所についた。	教員	95%



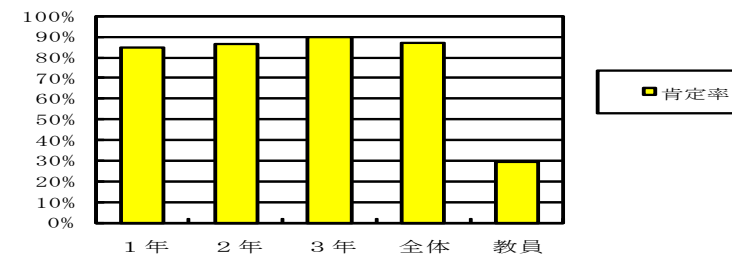
7 清掃

		肯定率
身の回りの整理整頓や清掃活動がきちんとできている。	1年	84%
身の回りの整理整頓や清掃活動がきちんとできている。	2年	92%
身の回りの整理整頓や清掃活動がきちんとできている。	3年	95%
身の回りの整理整頓や清掃活動がきちんとできている。	全体	90%
学年・学級や分掌で環境美化を計画的に行った。	教員	76%



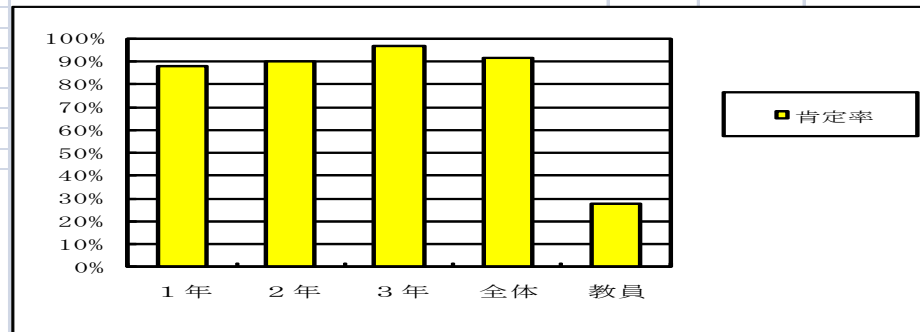
8 全校朝会

		肯定率
全校朝会の時は無言を意識して整列できた。	1年	85%
全校朝会の時は無言を意識して整列できた。	2年	86%
全校朝会の時は無言を意識して整列できた。	3年	90%
全校朝会の時は無言を意識して整列できた。	全体	87%
全校朝会が無言で開始できるようになった。	教員	29%



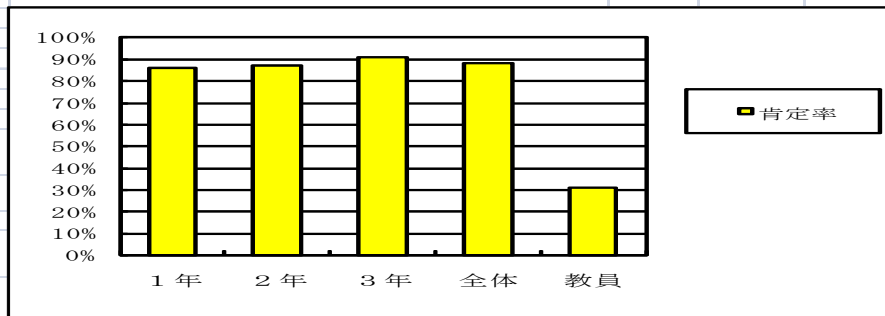
9 マナー

		肯定率
礼やマナーについての大切さがわかってきた。	1年	88%
礼やマナーについての大切さがわかってきた。	2年	90%
礼やマナーについての大切さがわかってきた。	3年	97%
礼やマナーについての大切さがわかってきた。	全体	92%
礼儀・マナーの取り組みの成果が出てきている。	教員	28%



10 合同終学活

		肯定率
合同終学活で各学級の取り組みが交流できた。	1年	86%
合同終学活で各学級の取り組みが交流できた。	2年	87%
合同終学活で各学級の取り組みが交流できた。	3年	91%
合同終学活で各学級の取り組みが交流できた。	全体	88%
合同終学活を通して学年リーダーが育った。	教員	31%



学年

年

次の各項目について、A～Dの中から当てはまるものを選んで○をつけてください。

【評価】 A：そう思う (80%以上) B：ほぼそう思う (60%以上～80%未満) C：あまり思わない (40%以上～60%未満) D：思わない (40%未満)

No	評価項目	評価			
		A	B	C	D
1	本校の教育目標や方針はわかりやすく伝えられている。				
2	家庭では、時間を守ることの大切さを話している。				
3	本校の生徒はよくあいさつをしている。				
4	授業参観・懇談には毎回参加し、内容は充実している。				
5	本校は、清掃が行き届き、校内はきれいである。				
6	我が子は定期テスト前に、計画的に勉強している。				
7	我が子は家庭学習を毎日平均1時間以上している。				
8	本校の学級や学年の掲示物は充実していると感じる。				
9	本校の生徒は、規範意識（礼儀、マナー）が育っている。				
10	本校のホームページの内容は充実している。				
その他	本校の教育に関して改善すべき点など、お気づきの点があれば記入してください。				

平成23年度 江波中学校の教育に関するアンケート（学校関係者評価）

次の評価内容について、A～Dの中から該当するものを選んで○をつけてください。

【評価】 A：そう思う B：ほぼそう思う C：あまり思わない D：思わない

NO	評価内容	評価（近いものに○を）			
		A	B	C	D
1	本校は、学校教育方針や学校経営計画に基づいて取り組みを進めている。				
2	本校の生徒は、意欲的に授業に取り組んでいる。				
3	本校の生徒は、よくあいさつをしている。				
4	本校では、わかりやすい授業が行われ、生徒の学力の向上に努力している。				
5	本校の生徒は、熱心に清掃活動に取り組み、校内はきれいである。				
6	本校の学校評価の方法は適切である。				
7	本校は、情報公開を積極的に行い、地域・保護者の意見などを聞く機会を多く設けている。				
8	本校の学級掲示物は充実していると感じる。				
9	本校の生徒は、規範意識（礼儀、マナー）が育っている。				
10	本校のホームページは、充実している。				
その他、本校の教育に関して改善すべき点など、お気づきの点があれば記入してください。					

* ご協力をいただきありがとうございました。

1 学校教育目標

豊かな感性を持ち、進んで学ぼうとする生徒の育成

2 目指す姿（学校像・園児児童生徒像・教師像）

- 目指す学校像：主任の実働化及び組織的・機能的、且つ協働的な学校運営体制の確立
- 目指す生徒像：清く明るく心をもち、人間としてお互いに尊重することができる。勤労の精神に満ち、困難にも負けないで何事にも努力することができる。進んで学習に取り組むとともに、常に責任ある言動をとることができる。
- 目指す教職員像：常に学びの姿勢を持ち、生徒とともに成長する教職員

3 現状と課題

- 本校は基礎学力が、県・市に比べて低く、望ましい人間関係作り及び確かな学力の向上を目指した授業改善を図る必要がある。
- 人間関係の希薄化や規範意識の低下により、自尊感情が低くなっていることが課題である。
- 生徒会活動においては、ここ数年でずいぶん活性化が図れたが、今後人間関係作りの一貫としても継続的交流会を仕組むなどの工夫が必要となっている。

4 目標

[中期経営重点目標]

- 進んで学習に取り組む、確かな学力を身につけた生徒の育成に努める。
- 礼儀やマナーを身につけるとともに、豊かな感性を持ち、より良いものを目指して積極的に行動できる生徒の育成に努める。

[（中間）評価]

- ・ 基礎学力の向上に向けて、江波中タイムテストを活用した取り組みになりつつある。
- ・ 礼儀やマナーについての取り組みはまだ不十分で今後具体的な取り組みが必要である。

短期経営重点目標	評価結果	主な具体的方策	実施状況	分析(○)・改善策(●)・支援要望(☆)
協働的な学びを成立する授業改善に取り組む	授業改善を図るための取り組みとして研究授業を行ってきたが、協働的な学びを生徒が実感するまでには至っていない。	生徒のやる気や疑問を引き出すために、課題把握ができる導入時の発問などを工夫した授業研究を行う。 小グループの活動を授業展開に取り入れる。 （「わからない」が言える生徒を育成する）	年7回の授業研究を含め一人一回の授業研究はおおむねできた。 小グループ活動を授業に取り入れることは定着できた。	○ 研修を積み重ねることにより、学び合いの形態はできてきた。 ● 授業研究への教師の意識に深まりが出てくるようどの教科にも共通する研究会の柱立てが必要である。 ☆ 教師の授業における資質を一層高めるためのさらなる指導主事の招聘をお願いしたい。
基礎基本の定着をはかるためのひとつの方策としてドリル学習や家庭学習の習慣が身につくように取り組む	年間通して計画的に実施したことで、おおむね定着できた。しかし、成果としては十分とは言えない。	江波中タイムテストを記録し、その結果を基礎学力の向上に役立てる。 家庭学習の習慣化を図るために課題を出し、毎日点検する。	江波中タイムテストの記録はとれたが、基礎学力の向上に生かせなかった。 担任が毎期点検することで95%以上の生徒は定着できた。	○ 全校体制で取り組むことで、今年度は基礎基本の学力検査において英語・数学とも前年度に比べのびている。 ● 江波中タイムテストの結果の分析をしっかりと行っ上で弱点の克服に努める必要がある。
生徒会活動の活性化を図るとともにリーダーの育成を図る	生徒会を中心に行事前意識の高揚など工夫はできたが、まだまだ日常活動においては、工夫の余地がある。	あいさつの声が出せ、真面目に掃除ができる状態をつくるために、あいさつ・クリーンキャンペーンの取り組みを工夫する。 礼儀やマナーを身につけるために、授業や生活指導、キャンペーン活動などを通して向上に努める。 学年リーダー指導を通して課題を交流し解決に向けた生徒の活動を取り入れる。（着ベルに取り組みで、授業道具が出て、私語がない状態を目指すなど） 学年や学級で立てた目標が達成できたかどうかを7、12、3月の合同学活で交流する。	縦割りで実施するなどの工夫はできた。 後期になり生徒会を中心にアンケートをとるなど意識づけを行った。 各学年で行事などを中心に工夫できたが、日常のリーダー指導までには至っていない。 合同学活は節目節目で実施できたが、目標を明確にした取り組みにならなかった。	○ 生徒会が中心となり様々な教育活動が実践できた。縦割りで交流にも行事においては成果が表れた。 ● 日常的に縦割りを意識した取り組みに工夫が必要である。特に礼儀、マナーなどへの取り組みに工夫が必要である。 ☆ 生徒会活動の他校実践例などを取り上げての視察ができればよい。

5 学校関係者評価に関する事項（主な意見等）

- 学校評価からも学校が工夫し、授業改善など成果が出ていると思われる。
- 学校関係者がどんな支援をすればよいか具体的にしていければと思う。

6 その他の報告事項